

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果の公表

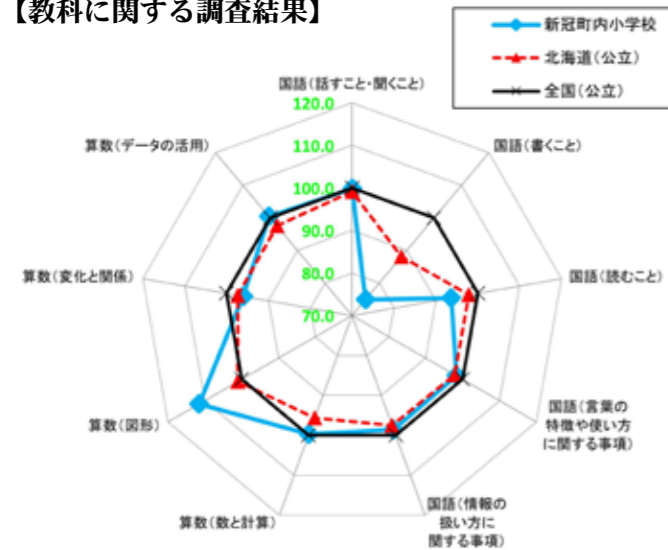
4月18日(火)に実施された令和5年度全国学力・学習状況調査の結果および分析についてお知らせします。

平成19年度から開始され今年度で17回目の実施となる本調査は、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に、①教科に関する調査として小学校は国語・算数の2教科、中学校は国語・数学および3年に一度行

われる英語の3教科。②生活習慣や学習環境などに関する児童・生徒質問紙調査が行われました。
● 本調査の結果をもとに、教育委員会では教育施策の充実を、各学校では教育活動の改善・充実に向けた取組を進めていきます。つきましては、保護者・地域の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

新冠町内小学校 (学校数2校、受験児童数40人)

【教科に関する調査結果】



【調査結果の概要】

小学校は、全国平均と比較して、国語が【やや低い】、算数が【同様】という結果でした。各領域の状況は次のとおりです。

【学力状況の概要】

国語では「話すこと・聞くこと」が【同様】、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」が【ほぼ同様】、「読むこと」が【やや低い】こと。「書くこと」が【低い】という結果でした。

算数では「図形」が【高い】、「数と計算」「データの活用」が【同様】。「変化と関係」が【やや低い】という結果でした。

【各小学校の主な学力向上の取り組み】

<新冠小学校>

☆条件をふまえ、伝える相手や目的を意識した文章を書く活動を取り入れる
☆毎週水曜日を「言葉の力をつけようDAY」として、「書く力」の向上を目指した家庭学習の推進
☆基礎基本の習熟を目指したICT機器の有効活用
☆学んだことを生かして主体的に学び、振り返って次へつなげる授業改善の推進

<朝日小学校>

☆朝日小スタイルの確立(課題設定-自力解決-協働解決-まとめ-振り返り-家庭学習)
☆国語科において「単元学習」をとおして「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けた授業改善
☆ICT機器を活用した授業づくり・家庭学習の取り組みの充実
☆調査やテストなどを活用し、検証改善サイクルによる授業改善

【児童質問紙調査の結果から】 (全国との比較)

<良かった点> (あてはまる・だいたいあてはまる)

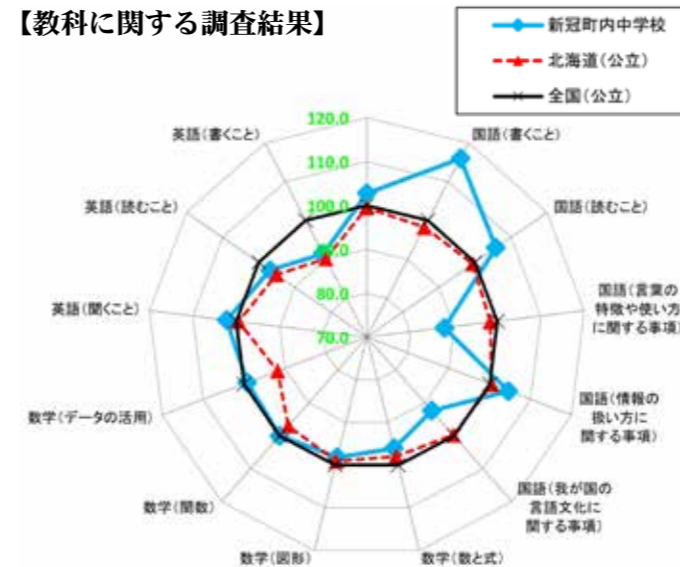
- 今住んでいる地域の行事に参加している → 78.1% (全国差 +20.3%)
- 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたい → 87.8% (全国差 +15.3%)
- 英語の勉強は好きですか → 82.9% (全国差 +13.6%)
- 将来、英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたい → 73.1% (全国差 +20.6%)
- 国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいる → 97.6% (全国差 +13.7%)
- 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなど工夫して発表している → 80.5% (全国差 +16.8%)
- 読書は好きですか → 82.9% (全国差 +11.1%)

<課題>

- 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使用した → 46.3% (全国差 -16.1%)

新冠町内中学校 (学校数1校、受験生徒数43人)

【教科に関する調査結果】



【調査結果の概要】

中学校は、全国平均と比較して、国語・数学ともに【ほぼ同様】、英語は【同様】という結果でした。各領域の状況は次のとおりです。

【学力状況の概要】

国語では「書くこと」が【非常に高い】、「情報の扱い方」「話すこと・聞くこと」「読むこと」が【やや高い】、「言葉の特徴や使い方」「言語文化に関する事項」が【低い】という結果でした。

数学では「図形」など3領域が【同様】、「数と式」が【やや低い】という結果でした。

英語では「聞くこと」「読むこと」「話すこと」が【ほぼ同様】、「書くこと」が【やや低い】という結果でした。

【生徒質問紙調査の結果から】 (全国との比較)

<良かった点> (あてはまる・だいたいあてはまる)

- 国語の勉強が好きですか → 86.0% (全国差 +24.6%)
- 1、2年生のときに受けた授業で、原稿などを準備することなく、自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていた → 86.1% (全国差 +22.3%)
- <課題>
 - 平日の家庭学習時間が1時間未満である → 53.3% (全国差 -19.4%)
 - 1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使用した → 37.2% (全国差 -23.9%)

【中学校の主な学力向上の取り組み】

<新冠中学校>

- ☆生徒の学ぶ意欲を高めるための組織的な校内研修の推進
- ☆ペア学習やグループ学習など協働的な学習活動の推進
- ☆家庭学習の質を高めるための工夫
- ☆デジタル教材「学びポケット」を活用した補充的な学習活動の確立
- ☆放課後や長期休業を活用した補充学習

【今後の学力向上策について】

今年度、町内小・中学校では、「新冠町研究推進指定事業」、「小学校専科教員加配事業」、「統廃合加配事業」、「働き方改革推進事業」などの指定校事業などを受け、教育活動や授業・指導法の改善に取り組んでいます。

また、教育委員会においても、幼小中連携、学力・体力向上、ICT教育、特別支援教育などの推進や教育環境の整備(町負担教職員配置など)に取り組んでいます。

【新冠町教育委員会の学力向上策】

- ☆幼小中接続・小中一貫を意識したカリキュラム・マネジメントおよび改善プランの実践と検証による授業改善の推進
- ☆ICT機器を効果的に活用した「個別的な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた取組の推進
- ☆校種連携により義務教育9年間を通して計画的・継続的に行われる発達の段階に応じた家庭学習習慣確立に向けた取り組みの推進
- ●問い合わせ先
教育委員会管理課管理グループ ☎ 0146・47・2547